



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

十和田湖・奥入瀬溪流・ 八甲田地域の環境保全を 適切な保全に努める

議員 現在、ユネスコエコパーク登録、国立公園満喫プロジェクトという二大プロジェクトで当市の観光は大きなチャンスを迎えている。対象地域の十和田湖・奥入瀬溪流・八甲田地域の現状認識と環境保全策は。

財保護の観点から必要最小限の工事にとどめるよう申し入れているほか、関係機関と連携して環境保全に取り組みたいと考えています。

議員 二大プロジェクトの特徴は。

民生部長 十和田湖の水質に関しては、青森、秋田両県で構成する連絡会議において行動指針を策定しており、平成二十七年年度における透明度は三十年ぶりに十二メートル台まで回復しました。

ロジエクトは、①原生自然を堪能する多彩な登山道の整備、②個性豊かな温泉や旅館で、昔ながらの趣のある温泉文化を楽しむ、③休屋地区の廃屋撤去などで魅力的な利用拠点の総合的再整備、この三点を特徴としています。

企画財政部長 ユネスコエコパークは、①保存機能

情報収集に努めるとともに、生態系への影響について国、県の関係機関に対策を要望していきたいと考えています。

教育長 渓流遊歩道の改修工事などの際には、文化

②学術的研究支援、③経済と社会の発展の機能を果たす三地域にゾーニングし、保護・保全だけでなく自然の利活用を重点を置いていることが特徴です。

議員 雄大な自然を世界各国の方々に知ってもらい、訪れてもらうことによつて経済が発展していくことは大変喜ばしい。神秘的な湖十和田湖、鬱蒼とした渓谷林の奥入瀬溪流、八甲田山の雄大な自然そのものを守り、子々孫々に引き継いでいかなければならない。利用を優先する余り、大切なものを見失うことのないよう取り組んでいただきたい。

環境保全にも十分な配慮を



環境保全にも十分な配慮を

成年後見制度 ニーズ拡大に対策を

市民後見人 育成・支援を検討中



山 端 博
(かけはし)

議員 十分な判断力がない認知症高齢者等の権利を守るため支援する成年後見制度の利用者数は、

健康福祉部長 市町村別に把握できませんが、青森家庭裁判所十和田支部管内で成年後見を申し立

てた件数は、平成二十七年三十六件、平成二十八年は速報値で四十九件です。

議員 今後さらに制度利用者がふえると考えるが、推進のために市民後見人を活用する考えは。

市長 市民後見人は親族後見人や専門職後見人に次ぐ新たな担い手として育成、活用が求められています。現在、市町村が行なうこととされている養成研修の実施方法について県内関係機関で協議しているほか、平成三十年年度からの第七期十和田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画では認知症高齢者対策の一つとして検討を進めています。



民間力の活用で制度推進を

議員 将来の小中学校の妥当な規模を考えなければならぬ。児童生徒数の五、十年前の状況と五、二十年後の推計は。

教育長 児童生徒数は十年前六千三百二十八人、五年前五千四百九十五人、平成二十八年四月末四千五百六十七人、五年後四千三百三十人です。まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、十年後四千七十一人、二十年後三千九百七人と推計しています。

議員 今後、統廃合や学区再編をどのような状況で考えていくのか。

教育長 統廃合は児童生徒数の推移状況をもとに地区懇談会等での意見を参考にしつつ慎重に検討したいと考えています。現時点で大規模な学区再編は考えていませんが統廃合等を機会に検討し、学校を中心とした地域コミュニティなどの混乱を招かないよう慎重に協議を進める必要があると考えています。